

造影 CT 検査 説明書

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院

【目的】

造影剤を用いることで病巣の有無や性質、範囲等をより詳細に評価することができ、より精度の高い診断が可能となります。

【方法】

1. 医師による問診を行います。
2. 腕の静脈に点滴ルートを確認します。
3. 確保した点滴ルートよりヨード造影剤を注入し、CT 検査を行います。
4. 検査終了後、副作用の発生に備え、30 分間院内で待機をしてもらいます。
5. 副作用の発生がなければ、点滴ルートを外し、帰宅できます。

【注意点】

1. 造影検査は午後のみとなります。
2. 金曜日及び祝前日の検査は対応しておりません。
3. 造影検査を行うには 3 カ月以内の血液データが必要となります。腎機能が悪い場合、造影検査を行うことができません。腎機能の値によっては、ビグアナイド系糖尿病薬を服用されている方は造影検査前 48 時間、検査当日、検査後 48 時間の計 5 日間について服用を一時的中止してください。中止されていない場合、造影検査を行うことはできません。
4. 造影剤注入時に造影剤が血管外に漏れ、局所が腫脹し痛みを伴うことがあります。ほとんどは時間経過とともに吸収されますが、まれに治療が必要となる場合もあります。
5. 検査直前にある医師の問診の結果によっては、造影剤を使用できない場合があります。
6. 造影剤は尿として体外に排出されます。検査後は尿の促進を促すため、水分を多めにお摂りください。水分制限をされている方はスタッフまでお知らせください。
7. 検査終了後、数時間から数日後に遅発性の副作用が発生することがあります。体に異常を感じた場合、下記にご連絡ください。

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 (052)892-1331(代表)

月曜～金曜 8:45～17:15 放射線科医師

上記以外 当直医師

患者氏名 : _____ 様

説明を受けた日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関名 : _____